

紬 郡内

紙 同

一分判 甲州漆 竹蠟

小梅 捣栗 姬胡桃

蒲萄 岩崎

駒 經石 生澤川

柿

大和紬

〔甲斐國志 百二十三〕  
〔産物及製造〕製造品

一郡内紬 郡内トハ都留郡ノ自稱ナリ、紬綿ノ事ハ、舊ト波多八代宿禰ノ事跡ニ據ル、古語拾遺詳ニセリ、  
八代ハ山背ノ義ニテ富士山ノ北ヲ云波多ハ紬綿ノ肌膚軟ナル義ナリ、秦氏ノ事ハ古語拾遺ニ  
見タリ、富士ヲ西北古昔屬八代郡、其地濶シ、都留郡及駿州富士郡ト同ク、蠶桑ヲ專業トセリ、古歌、

するがなるふじのくわこのにひわたは高ねの雪の色にるらし雪ヲ紬綿ノ白比シテ賞シタ  
ルナリ、延喜式ニ本州貢帛ノ品多シ、殘簡風土記、八代郡略命武庫織染之料都留郡貢生衣麻布武

器等ト所因來久シト謂フベシ、東鑑建久六年、駿河國富士郡濟物綿千兩、被進京都云々ト見タリ、  
其頃マデモ富士郡ニ蠶桑多カリシ趣ナレドモ、暖地ニ不宜故ニヤ、後ニハ其事止ミス、本州八代

山梨二郡ハ、今尙專ラニセリ、特リ郡内ノ名公然ト世ニ行ル、コト寒淒ノ地養蠶ニ宜キ故ナル  
ベシ、且紬ノ品類多内ニ互善惡アリ、必婦女ノ手慣タルノミニモ非ズ、元來水土ニ因ル者ナリ、

絲 山梨郡三日河ノ水ヲ用ル處、其色佳シテ、鬻ニモ増直ト云、索縷ニ始ヨリ、繭ヲ浸水煮ル謂之

沈縷繭沈釜底也、沸湯ニ繭ヲ入レテ烹レバ、繭ハ水上ニ浮ブ、浮縷ト云、是ヲ佳トス、都留郡桂川ノ

水清麗殊ニ宣シ、紬帛自縞織物品々、今舉テ記シ難シ、郡内八代山梨三郡凡テ活業トナス、  
紬 緝絲ト云、義ニシテ繼續ノ意、紬ノ龜ナル物ナリ、南部村ノ柳島岩崎紬等、古ヨリ州ニ名アリ、

フトリ 答布太布綿ノ義ニテ、猶以テ龜ナリ、始索縷トキ、緒ヲ渝ルトテ、撮切タル者ヲ、ブリト名  
ク、此等ノ絲クズヲ聚メ績ミテ織ルナリ、アガリ名付ハ、繭ノ撚絲スヂノ立ザル者ナリ、綿ニ造ル  
ベシ、綿白井郷ヲ佳トス、曾禰ニハ運上永アリ、凡養蠶ノ村ニテ桑ヲ畠畔ニ植ルハ、桑束トテ

本高三入テ米納ス、